八雲町郷土資料館農機類標本台帳

一般名称: 草削り、ホー類 現地の通称:
資料種別: ●製品-実物 ○製品-レプリカ ○製品-模型 ○製品図面 ○写真等 ○図書掲載 ○その他
 資料種類: 図人力用具 図手押式 □耕耘用 □調製用 □
製作者・会社: 不明 製造市・国名 製造年_購入年,標本収集年
銀が畦立、除草などの管理作業用に改良発展し、個々に畦立器や草削り器と言われるばかりか、アメリカでは鍬類すべてをホー: Hoeと呼ぶが、日本では除草等の管理用鍬をホーと言っている。中耕除草作業は、旺盛な作物生育を維持する上で不可欠の作業であり、それも酷暑の炎天下で数回繰り返すため重労働になるため、古くから国内外共に名種の除草器が開発され、作物と作業様式によって形態が異なって興味深い。近年は、除草剤処理とトラクタ作業機に変っているが、人力除草機は、相変らず無農薬栽培などで使われている。2014年調査時に未確認
利用経過 収集記録 意義等
未調査 構設等 右に 全体図 関連図 1:標本 2:明治期の輸入除草作業機 3:明治期の輸入手持ち除草具
外観特色 関連図等 (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B
資料の所在写真のみ事項
当項 事項 事項 資料管理 経過
作業メモ自記文